

第45回 真庭市地域公共交通会議 議事録

日時：令和7年6月17日（火）

13時30分～14時30分

場所：市役所2階 大会議室(1)

1 出席者

【委員】太田会長、清水委員、木村委員、栃折委員、初岡委員

長田委員、妹尾委員、山本委員、眞柴委員、原田委員、佐田委員、三谷委員

【専門員】宮地専門員、川島専門員、矢田部専門員、水野専門員、中塚専門員

【事務局】金谷生活環境部長、八木公共交通対策室長、三船係長、妹島主任、今石主事

2 公共交通会議議事概要

（冒頭）八木室長挨拶

各委員、専門員挨拶

太田会長挨拶

太田会長：お集まりいただき、ありがとうございます。

高齢化が進んでいるなかで、市民の足の確保、特に、農山村部の足の確保は行政として知恵を出し合っていくしかないと思っている。真庭市内については行政が責任持っていくことになり、市外については広域行政として、県の方にもご協力をお願いしたい。WILLERが運行する東京－島根を結ぶ高速バスにおいて、久世インターにも停車するようになり、NEXCOのご理解のもと、数台分の駐車場を確保していただいている。大阪－出雲間でも、蒜山停車が再開となったため、さらなる利用促進を図る必要がある。北房地域の新しいデマンド交通も運行を予定しているため、皆さんの知恵をいただきながら、少しでも移動の自由を確保できたらと思っています。本日はよろしくお願いします。

八木室長：ありがとうございました。それでは、協議事項に入らせていただきます。

●審議事項

（1）令和7年度真庭市地域公共交通事業計画（案）について【資料1】

（2）自家用有償旅客運送更新登録申請に伴う合意について

1)美咲町旭川ダム沿線バス運行事業【資料2】

2)津山・富線共同バス運行事業【資料3】

3)真庭市福祉移送サービス事業【資料4】

（3）令和8年度地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統補助金)に関する認定申請について【資料5】、【別添1】

（4）令和8年度地域公共交通確保維持改善事業(地域間幹線系統補助金)に関する認定申請について【資料6】、【別添2】

（5）まにわくん年末年始の運行について【資料7】

太田会長：審議事項（１）について事務局より説明を。

八木室長：～一括説明～

太田会長：審議事項（１）について何かあるか。

宮地専門員：北房地域の新しいデマンド交通の実証運行中は既存の枝線はどうなるか。

八木室長：正確なニーズを計るため、枝線の北房ルートは一旦ストップさせる。

☆審議

太田会長：では、この事項について承認いただける方は挙手をお願いします。

（挙手多数）

太田会長：ありがとうございます。賛成多数により、承認されたものとします。

太田会長：審議事項（２）について事務局より説明を。

三船係長：～一括説明～

太田会長：審議事項（２）について何かあるか。

☆審議

太田会長：では、この事項について承認いただける方は挙手をお願いします。

（挙手多数）

太田会長：ありがとうございます。賛成多数により、承認されたものとします。

太田会長：審議事項（３）について事務局より説明を。

三船係長：～一括説明～

太田会長：審議事項（３）について何かあるか。

栃折委員：資料５の数値目標①、②、③が未達だったということだが、実績はどうか。

太田会長：直近の実績で構わない。

三船係長：令和 6 年度の利用者数が 94,123 人、幹線ルートに係る財政支出が 80,969 千円、収支率が 17.5%となっている。

☆審議

太田会長：では、この事項について承認いただける方は挙手をお願いします。

(挙手多数)

太田会長：ありがとうございます。賛成多数により、承認されたものとします。

太田会長：審議事項（4）について事務局より説明を。

三船係長：～一括説明～

太田会長：審議事項（4）について何かあるか。

太田会長：25 ページの補助率 1 / 2 は現実問題としてきちんとでるのか。

宮地専門員：制度上あまりにも乗車人数が少ない場合、補助要件に満たない場合もある。これは大きいバスの場合、採算がとれなくなるためである。

太田会長：小さいバスに変更した場合はどうなるか。

宮地専門員：その場合は、地域間幹線系統補助金ではなく、フィーダー系統補助金等になる。

眞柴委員：観光面では、インバウンド需要も団体客よりも個人客が増えており公共交通を利用した来訪者が増えてきており、移動方法について聞かれることがある。まにわくんについてもホームページ等を案内している。

太田会長：公共交通情報について英語版がない。対応させていきたい。

八木室長：デジタルサイネージ等でも掲載していく。

☆審議

太田会長：では、この事項について承認いただける方は挙手をお願いします。

(挙手多数)

太田会長：ありがとうございます。賛成多数により、承認されたものとします。

太田会長：審議事項（５）について事務局より説明を。

三船係長：～一括説明～

太田会長：審議事項（５）について何かあるか。

太田会長：周知は徹底していくように。

☆審議

太田会長：では、この事項について承認いただける方は挙手をお願いします。

（挙手多数）

太田会長：ありがとうございます。賛成多数により、承認されたものとします。

●報告事項

（１）令和６年度真庭市地域公共交通事業報告について【資料８】

（２）コミュニティバス「まにわくん」の諸報告について【資料９】

（３）その他諸報告

１）「チョイソコまにわ」利用状況について【資料１０】

太田会長：報告事項（１）について事務局より説明を。

三船係長：～一括説明～

太田会長：報告事項（１）について何かあるか。

太田会長：報告事項（２）について事務局より説明を。

今石主事：～一括説明～

太田会長：チョイソコまにわの負担もちろんある。

八木室長：チョイソコまにわの負担は約 2,400 万円ある。

太田会長：なかなかコロナ前には戻らないが、人口減少も関係しているか。

眞柴委員：まだまだ車での移動が多い現状もある。

初岡委員：真庭市は IC が 5 つあるのも車移動が多い要因ではないかと思う。

太田会長：報告事項（3）について事務局より説明を。

三船係長：～一括説明～

太田会長：改善や研究は進んでいるか。内野農村型というものもあるが、

三船係長：本来狭いエリアでのものを広いエリアで導入しているため、逐一共有している。

太田会長：距離によって運賃を変えるシステムは。

三船係長：事業者側が決めることにはなるが、市としても意見を出していく。

太田会長：真庭市と同等の広さの事例は。

三船係長：地域柄にもよって異なるため、検証できていない。

八木室長：～資料 38 ページ説明～

宮地専門員：国庫補助を活用した事業化、観光部署とも横連携のうえで取り組んでいただき、国としても協力していきたい。

眞柴委員：台湾からのインバウンド需要は年々高まってきているため、レンタカーだけでなく、公共交通も移動の選択肢としてあることも周知していきたい。

太田会長：その他何かございますか。

八木室長：ないようですので、これを持ちまして閉会とさせていただきます。
最後に長田分科会長より一言いただきます。よろしくお願いいたします。

長田委員：本日はご審議いただきありがとうございました。真庭市は地域柄が強いので、チョイソコまにわや北房のデマンド交通も含めて、地域の特性に合わせていくことが大切。また、よりよい施策を行っても乗らなければ意味がないため、担当者だけでなく、市民も一緒になって公共交通を持続可能なものにしていく必要があると思います。

（閉会）